『新進研究者 Research Notes』テンプレート

Research Notesテンプレートについて

このファイルは，日本科学哲学会・科学基礎論学会オンライン雑誌『新進研究者 Research Notes』に投稿するためのMS Word用テンプレートです．このテンプレートにはNoteのタイトルや本文をはじめとして，Abstract，文献表，それぞれの書式が設定されており，書式を崩さずに執筆することで投稿規定に沿った形式でNoteが執筆できます．

Research Notesテンプレートの書式

このテンプレートは，文字サイズ10.5ポイント，1行34字×35行に設定しています．フォントは，日本語：MS明朝，英数字：Centuryと設定しています．

テンプレートの使用方法

「ホーム」タブにある「スタイル」の右下をクリックすると「スタイル」ボックスが画面右横に表示されます．

ボックス内に「題目」，「Abstract」，「小節」，「論考本体」，「引用」，「文献表」がありますので，執筆に必要なスタイルを適宜選択してください．

Note執筆における注意事項

Noteは，投稿規定に沿って執筆してください．このテンプレートを用いて執筆を行う際にも，日本科学哲学会ホームページ上の「[早期若手研究者投稿用オンライン雑誌創刊のお知らせ](http://pssj.info/data/20170929_online.pdf)」にある「[3]投稿規定と公募要領の概要」を参考にしてください．

（1）審査は，ブラインド・レフェリー制のため，原稿には著者を特定しうる表現（「拙論」，「拙著」等）は使用しないでください．

（2）著者氏名や所属については，投稿用調書に記載し，原稿には記載しないでください．表紙は不要です．

（3）冒頭には，必ず英文アブストラクト（100語程度）を記して下さい．

（4）分量は，日本語のほか，英語・ドイツ語・フランス語ともに，題名，アブストラクト，数式，表，注，参考文献など一切を含めて8頁以内とします．

注釈について

注は，本文の最後に一括してください．書誌情報は，文献表にまとめてください．

文献表について

文献は「注」の後に記載してください．

例

Johnson, R. N, 2003, “Internal Reasons: Reply to Brady, van Roojen and Gert.”, *The Philosophical Quarterly* 53, 573-580.

日本科学哲学会編，2008，『科学哲学の展開1 分析哲学の誕生―フレーゲ・ラッセル』，勁草書房．

以上，本テンプレートの説明を終わります．次のページから，Research Notes応募専用テンプレートとしてお使いいただけます．Abstract，(1)研究テーマ，(2)研究の目的・先行研究，(3)筆者の主張，(4)今後の展望，(5)参考文献，という構成で執筆できるようにしてあります．

新進研究者 Research Note

Abstract

Please write the abstract here (100 word).

(1) 研究テーマ

(2) 研究の背景・先行研究

(3) 筆者の主張

(4) 今後の展望

(5) 参考文献